



2020年8月7日

各位

会社名 F I G 株式会社  
代表者名 代表取締役社長 村井 雄司  
(コード：4392 東証一部 福証)  
問合せ先 取締役執行役員社長室長 岐部 和久  
(TEL. 097-576-8730)

### 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2020年2月14日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

1. 2020年12月期第2四半期連結累計期間業績予想数値の修正 (2020年1月1日から2020年6月30日)  
(単位：百万円)

|                                    | 売上高   | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に<br>帰属する<br>当期純利益 | 1株当たり<br>当期純利益 |
|------------------------------------|-------|------|------|-------------------------|----------------|
| 前回発表予想 (A)                         | 5,220 | 124  | 122  | 78                      | 2円77銭          |
| 今回修正予想 (B)                         | 5,067 | △125 | △102 | △202                    | △7円02銭         |
| 増減額 (B - A)                        | △153  | △249 | △224 | △280                    | —              |
| 増減率 (%)                            | △2.9  | —    | —    | —                       | —              |
| (参考) 前期第2四半期実績<br>(2019年12月期第2四半期) | 4,711 | 155  | 188  | 104                     | 3円73銭          |

2. 2020年12月期通期連結業績予想数値の修正 (2020年1月1日～2020年12月31日)  
(単位：百万円)

|                          | 売上高    | 営業利益   | 経常利益   | 親会社株主に<br>帰属する<br>当期純利益 | 1株当たり<br>当期純利益 |
|--------------------------|--------|--------|--------|-------------------------|----------------|
| 前回発表予想 (A)               | 11,000 | 500    | 492    | 306                     | 10円88銭         |
| 今回修正予想 (B)               | 10,000 | 0      | 0      | 0                       | 0円00銭          |
| 増減額 (B - A)              | △1,000 | △500   | △492   | △306                    | —              |
| 増減率 (%)                  | △9.1   | △100.0 | △100.0 | △100.0                  | —              |
| (参考) 前期実績<br>(2019年12月期) | 9,504  | 47     | 73     | 52                      | 1円87銭          |

### 3. 修正の理由

第2四半期連結累計期間につきましては、情報通信事業において顧客であるタクシーやバス、ホテルの事業者が新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けております。情報通信事業は定額制システム利用料のプランを中心に事業を展開しているためストックビジネスへの影響は限定的ですが、新規導入のフロービジネスにおいて一定の影響を受けていることから当事業の売上高は期初想定を下回る見込みであるものの、コスト削減等の効果もあり営業利益は黒字を確保できる見込みです。

利益面では装置等関連事業が苦戦しており、当事業の営業利益は赤字となる見込みです。装置等関連事業については、前年度に米中貿易摩擦等の影響で半導体市場が悪化したことから業績の低迷が続いていることに加え、新型コロナウイルスの感染拡大による自動車関連産業の生産調整により設備投資など支出抑制の動きが広がっており、主力の自動車関連において価格競争が激化する中で低利益率の受注により売上高を確保しているため、利益面が悪化しております。

このような状況から、第2四半期連結累計期間の売上高・利益面ともに前回予想を下回る見込みとなりました。

また、通期連結業績予想につきましては、第2四半期累計期間の業績予想の修正及び新型コロナウイルス感染拡大の影響による今後の業界動向等を踏まえて、見直しを行いました。

特に業績が低迷している装置等関連事業については、期初想定では下半期より業績回復を見込んでおりました。しかしながら、米中貿易摩擦の長期化に加え、主力の自動車関連が足元で厳しい状況が続いていることから、下半期からの業績回復が難しくなりました。その反面、新型コロナウイルスの感染対策によりデータ化が進み、データセンタ関連需要の急増など半導体市場全体では堅調な成長が予測されており、5G や AI、IoT などの需要が見込まれていることから、需要変動に対応した自動車関連以外の受注にも積極的に取り組んでおります。このような新規分野での取り組みについては、下半期より一定の業績反映を見込んでおり上半期と比較すると改善はしますが、本格的な業績回復としては次年度を見込んでおります。

このような状況から、下半期についても売上高と各利益段階において前回予想を下回る見通しとなりました。

なお、配当予想につきましては、修正の予定はありません。

以 上